



パワフルAOMORI!創造塾は、地域づくりの担い手となる人財を育成するため、活力ある持続可能な地域づくりに係る講義・演習等を行うとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的とした事業です。8月23日(土)に開催された第2回講座の様子をお知らせします。

フィールドワーク・演習

第2回講座は、塾生が地域活動の現場を訪問し、実践者と交流したり活動に参加したりする「フィールドワーク」を開催しました。場所は鶴田町地域活性化支援センター「TSURUTA LABO」(旧鶴田町立水元中央小学校)で、講師は 一般社団法人もったいない研究所 代表理事 ^{おか うたこ}「岡 詩子」氏でした。

岡氏には、「もったいないから未来をつくる」をテーマに、講義や施設見学を通して、自身のこれまでの活動や TSURUTA LABO での実践事例を紹介していただくと共に、すべての活動の根底にある想いについて具体的にお話いただきました。

演習では、「自分にとっての『もったいない』とは何か?」を見つめ直すワークショップを行いました。自分の大切に感じるものや価値観について内省することで、地域活動の方向性を改めて確認しました。

講義



集合写真



おか うたこ
岡 詩子氏

一般社団法人
もったいない研究所
代表理事

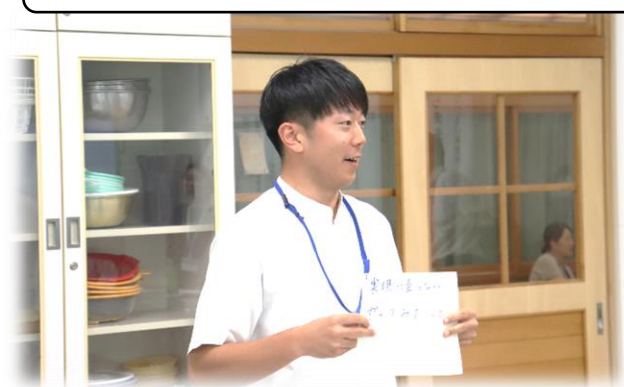
「もったいないから未来をつくる」をテーマに、人それぞれで違うもったいないという感覚を集め、探求し、つなぎ合わせて未来をつくっていく「もったいない研究所」代表理事。現在は鶴田町地域活性化支援センター「TSURUTA LABO」の指定管理事業者として、施設の管理運営、イベント企画、利用者の起業やコトはじめのサポート等を行っている。



施設見学



演習「あなたの“もったいない”とは？」



塾生の感想

- ・ 安心できる場所をつくることと、きっかけを大事にしていることにとっても共感できました。これからも、より一層楽しく活動をしていきたいと、元気・パワーをもらいました。
- ・ すばらしい発想、アイデア、行動力、信念があり、大変参考になりました。
- ・ 岡さんのパワーがすごかったです。自分が何をやりたいのか、何ができるのか考えることが大切だと感じました。
- ・ 地域活性化は町＝住んでいる人の思いを汲み取ることなのだと思います。
- ・ もったいない研究所がとても心理的安全性の高い場所であることを感じました。また、自己の可能性を見出し、どんどん色々なことをやっていこうと思いました。
- ・ 「もったいない」を「もったいない」のままにしないために活動しているという点は、地域づくり全体に共通する考え方なのではないかと感じました。「せっかくこの地域には〇〇があるのに知られていない」「せっかく若者が集まったのだから」「このままではこの素晴らしい〇〇がなくなってしまう」など、地域の中には活動のタネが多くあるように思います。今後、自分の活動内容などを考えるうえで、地域に「もったいない」と思うことはないかを考えることは大きなヒントになると感じました。